

実証成果 (有)ファームヤード (埼玉県深谷市)

実証課題名 露地野菜栽培における自律走行型ロボット及びリモート圃場カメラを活用した農薬散布サービスの実証

経営概要 70ha (ネギ25ha、小松菜15ha、キャベツ30ha、枝豆18ha) うち実証面積: ネギ10ha



導入技術 ①自律走行型農薬散布ロボット ②リモート圃場カメラ



目標 25剤/期散布、散布作業コスト25.7%削減、圃場監視コスト11.2%削減

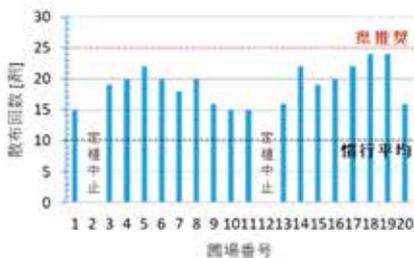
1 目標に対する達成状況

- 自律走行型農薬散布ロボットを活用した代行サービスにより、散布回数を大幅改善し、目標 (25 剤 / 期) を概ね達成。代行サービス活用で慣行散布コストを 26.6% 削減、作業効率を 20% 向上。
- リモート圃場カメラにより、人が巡回した場合と比べて圃場監視コストを 11.4% 削減。カメラの設置により、早期に雑草を検出することで除草タイミングを適正化し、反収を 5% 改善。

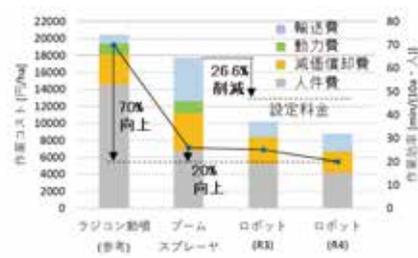
2 導入技術の効果

自律走行型農薬散布ロボット

●ロボットを用いた代行サービスにより散布回数を大幅改善

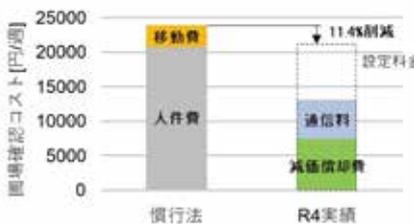


●代行サービス活用により慣行散布コストを 26.6% 削減

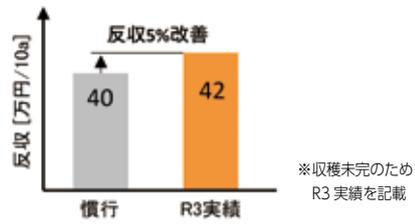


リモート圃場カメラ

●リモート圃場カメラにより圃場監視コストを 11.4% 削減



●リモート圃場カメラにより雑草繁茂を抑制し反収を 5% 改善



3 事業終了後の普及のための取組

- 自律走行型農薬散布ロボットについては多様な作物品目、薬剤に対応できるように足回り及び散布系の改良を図る。
- リモート圃場カメラについては、支柱を単管パイプにする等、普及にあたって農業分野で調達しやすい資材に変更を図る。

問い合わせ先 株式会社レグミン (e-mail: info@legmin.com)